



# ともしび

— TO MO SI BI — 第230号

2015(平成27)年6月号

## 降誕会

「降誕会」この言葉を何と読むか、お寺によくお参りされる方にとっては馴染みのある言葉ですが、あまりご縁のない方にとっては少し難しいかもしれませぬ。

正解は「こうたんえ」です。浄土真宗の宗祖である親鸞聖人のお誕生をお祝いする、とても大切な行事です。親鸞聖人は、承安3年(1173)5月21日(旧暦4月1日)に京都の日野の里でお生まれになったと伝えられています。また、幼い頃の名前は松若麿であったといわれています。

親鸞聖人は幼い頃に父母を亡くされ、わずか9才という若さで出家されたのです。

その出家(得度式)

されたときに詠まれた和歌が、

「明日ありと 思ふ心のあだ桜

夜半に嵐の 吹かぬものかは」

というものです。親鸞聖人が慈円のもとを訪ね得度の式を受けることを願われた時、夕方遅かったので、慈円



は、「今日はもう遅いので、得度式は明日にしましょう。」と言われたのですが、この和歌を詠まれ、その日のうちに得度を受けられたのです。

当時の時代背景もあってか、わずか9才の少年が人生の無常を感じ、明日をも知れぬ命を生きていることに思いを馳せられたのです。

出家された後、

比叡山で厳しい修行を積まれましたが、どうしても自分の力では煩惱をなくしさとりを開くことができない

と苦しまれ、29才の時に比叡山を下り法然聖人のもとへ行かれました。そこでお念仏の教えに出遇われたのです。お念仏の教えは、煩惱を断ち切ることでできない私たちが、そのまま救われていく教えでした。

当時、そのような教えは邪教とされ、法然聖人や親鸞聖人その他のお弟子方は流罪や死罪に遭うなど様々な迫害を受けられました。しかし、その度重なる苦難を乗り越えられ、お念仏の教えを伝えていかれたことにより、出



家・在家を問わず多くの人々に広まっていきました。

そして、流罪に遭われた新潟から関東の地に赴かれ、さらにお念仏の教えを広めるため『教行信証』という書物を著されました。晩年は京都にお帰りになり、弘長2年(1263)1月16日(旧暦11月28日)に90歳という当時では考えられないほどのご長寿でお亡くなりになりました。

その後、お念仏の教えは脈々と受け継がれ、800年以上経った現在においても親鸞聖人のお示しになられたお念仏を喜び、お念仏申す道が開かれています。

当会館におきましても、6月6日に宗祖降誕会をお勤めいたします。お寺によくお参りされる方も、今ままであまりご縁のなかった方も皆さま揃いでどうぞご参拝ください。



# 仏事あれこれ

## 一口法話

今、子ども達の中で流行しているものの一つに「妖怪ウオッチ」があります。主人公の少年がある日、妖怪と出会い、妖怪の見える腕時計（これを妖怪ウオッチという）を手に入れます。その妖怪ウオッチを手に、人間に対して悪事をはたらく妖怪をこらしめたり、妖怪と友達になったりする物語です。マンガ、アニメ、ゲーム、キャラクターグッズなどがどれも大ヒットしています。私はこのアニメをほとんど見たことはありませんが、娘はアニメのエンディング曲の「妖怪体操」を楽しんで踊っております。

さて、この物語は日常の出来事すべてを妖怪の仕業であるとした所に特徴があり、人間の感情や悩みなどを妖怪にしてしまうのです。その場の雰囲気やどんより重くしてしまうのは妖怪ドンヨリー、ネガティブな気持ちになるのは妖怪ネガティブーン、なんでも忘れてしまうのは妖怪忘れん帽の仕業など、多種多様でおかしな妖怪が出てくるそうです。

古来より妖怪は、日本文化の中でも娯楽的な要素として取り扱われてきました。浄土真宗の僧侶・釈徹宗（しやく・てっしゅう）師は、「大半の妖怪は、怪異現象に名前をつけることで生まれる。（中略）現象に名づけを行い、さらには造形化されていく中で、妖怪は生き生きとした物語で肉づけされていく。つまり妖怪は、見えない世界への畏敬、記号化する能力、物語る力などによって基礎づけられている。」と仰っています。

昨年12月に重要文化財に指定された築地本願寺の本堂にも、設計された伊藤忠太博士の趣向により、様々な動物や妖怪のような生き物が各所に飾られています。

浄土真宗の教えから妖怪を肯定することはありませんが、そもそも阿彌陀如来は色もなく形もない真如法性（しんによほっしょう）と云って、真実そのものであります。それを私たちが手を合わせ、礼拝しやすいようにするため、絵像や南無阿彌陀仏の名号となって私たちの目や口に届けてくださっているのです。

## 仏事のQ&A

Q. 法事はいつお勤めする？

A. まず、亡くなって一年後に勤める法事が一周忌です。二年後は三回忌と言います。次に勤める法事は六年後で七回忌です。以後十三回忌、十七回忌…と左の表のようになります。なお、二十五回忌を二十三回忌と二十七回忌と別けて勤める地方もあります。「A回忌」亡くなって（A-1）年後」と覚えておけばよいでしょう。

『新・仏事のイロハ』より抜粋

年忌法要	死亡からの年数
1 周忌	1 年後
3 回忌	2 年後
7 回忌	6 年後
1 3 回忌	1 2 年後
1 7 回忌	1 6 年後
2 3 回忌	2 2 年後
2 5 回忌	2 4 年後
2 7 回忌	2 6 年後
3 3 回忌	3 2 年後
5 0 回忌	4 9 年後

※以後、50年ごとに勤める。

◆今年が年忌法要の方は、当会館までご連絡ください。念のため、今一度ご自宅の過去帳をご確認ください。

# 5月行事の様子

## ★常例法座 5月16日(土)

4月に引き続き小雨でしたが、20名程のご門徒の皆さまがお参りくださいました。  
(注:主管が雨を呼んでいるわけではありません…)



← ご講師の宮本義宣先生



↑ 5月のお誕生日 おめでとうございます。

↓ 恒例のおさかい争奪  
じゃんけん大会!



## ★おみがき・境内清掃 5月24日(日)

5月とは思えないほどの暑い日でした。17名の方に参加いただき、仏具のおみがきと境内の草取りを中心にお手伝いいただきました。(汗を流した後に飲むビールは格別でしたね^^)

↓ きれいに磨かれた仏具と一緒にハイ・ポーズ



← 男性陣は、外で  
仏具をすすぎ洗い



→ 女性陣は、中で  
仏具のおみがき  
皆さん手際よく  
お手伝いいただき  
ました。



← 和田堀廟所より使わなくなった  
イスをいただきました。  
座り心地バツグンです!

## ▶ 6月の行事予定

### 宗祖降誕会

ご講師 毛利 祥真 師  
(神奈川県 立徳寺)



6月6日(土) 午後1時～

浄土真宗の宗祖親鸞聖人のお誕生をお祝いする法要です。

### 新旧主管歡送迎会

6月6日(土) 午後3時30分～

3月末をもって東久留米会館を去られた横田主管、そして4月より着任の安邊主管の歡送迎会を行います。

### 親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

6月16日(火) 午前7時～

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか？ お供物のおさがりをプレゼントいたします。

### キッズサンガ子ども会

6月20日(土) 午前10時～

降誕会にちなんで親鸞聖人すごろくを行います。年齢制限はありません。小さなお子様は保護者同伴でご参加ください。当日参加もOKです。

## ▶ 7月の行事予定

### 常例法座

ご講師 倉上 学法 師  
(東京都 正法寺)

7月12日(日) 午後1時～

お気軽にお参りください。

東久留米会館会報 「ともしび」 第230号

発行日 2015年6月1日

発行者 安邊 泰教

住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30

電話 042-474-6787

### 編集後記

先月よりレイアウトを刷新いたしました。今からはカラー印刷での発刊となります。カラー印刷をするにあたり、東久留米会館奉讃会様よりプリンターの寄贈をいただきました。ここに御礼申しあげ、さらに会報に力を注ぎます。(安)

### ありがとうございます。

加藤吉長様

### 今月の仏飯米の進納

大嶋 弘様 大嶋貢子様 神谷正弘様

神谷玲子様 菅野ヨシコ様 田口康子様

西ユリ子様 浅野由美様 高田慶彦様

加藤吉長様 高田テルハ様 森澤忠和様

北川康雄様 才野木康雄様 岩内聖旨様

坂井拓也様 森王美津子様